

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化財課長 丹羽野 裕	電話番号	0852-22-6468
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	八雲立つ風土記の丘事業		
目的	(1) 対象	県民及び県外からの来訪者	
	(2) 意図	風土記の丘地内の史跡や文化財を通して県内の文化財への興味・関心を高め、文化財を身近なものと感じるようにする。	
事業概要	風土記の丘地内の古代出雲に関連する史跡その他の文化財を総合的に保存・展示し、かつ、各種イベントや展覧会などを開催し、その活用を図ることにより、県内の文化財の価値や魅力をわかりやすく情報発信する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	主要施設への入館者数	目標値	24,000.0	24,000.0	24,000.0	24,000.0	人
	取組目標値							
	式・定義	八雲立つ風土記の丘展示学習館、山代二子塚土層見学施設、ガイダンス山代の郷の入館者数	実績値	24,572.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	取組目標値							
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	61,174	61,174
うち一般財源 (千円)	59,341	59,154

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

・展示学習館、土層見学施設、ガイダンス山代の郷の総入館者数は前年度比298人増の24,572人となった。
 ・展示学習館では、企画展(2回)、ミニ企画展(3回)、特別展(1回)、ガイダンス山代の郷では、ロビー展(4回)の開催などさまざまな企画展を行った。
 ・普及活用事業として、出土品レプリカ製作や工作体験教室、風土記の丘教室、風土記植物園での観察会、国府まつりなどの各種イベントなど、様々な企画を実施し、多数の来訪者があった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・新たにJAF会員や出雲空港、米子空港利用者への情報発信を行うなど、利用者増加に向けて積極的に取り組んだ。
 ・誘客に向け、地域団体等と協力して開催した「国府まつり」は、過去最高の来訪者数(約700人)となった。
 ・敷地内の植物園について、地元の各種ボランティア団体・個人の協力を得て、草取りや清掃活動を行い、良好な環境を維持するとともに、植物名表示や道しるべを英語表記のものに刷新した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- ・専門性・史料的価値の高い展示を行っており、熱心な来館者も多いが、観光客などにはなじみが薄く、入館者増につながらない。
 - ・周辺の観光ルートから外れた立地条件のうえ、史跡出雲国府跡をはじめとする風土記の丘地内の見学ルートの整備が不十分のため、観光客を誘致する体制が整っていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・知名度の低さ
 - ・観光客誘致体制の未整備
- ③原因を解消するための「課題」
- ・情報発信の強化
 - ・入館者(来場者)の満足度の向上
 - ・地域関係者、関係機関との連携の強化

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・さらなる情報発信により、当館周辺地域の知名度アップを図るとともに、見学ルートの整備、史跡音声ガイド端末や電動アシスト自転車の配置などにより観光客誘致につなげる。
 ・近隣学校及び公民館への行事受け入れの呼びかけや小規模イベントの頻繁な開催及び展覧会の開催により地元リピーターの確保に努める。
 ・展示内容の充実、複数ある施設の維持・管理・運営を確実に実行していくとともに、ガイド養成など専門的知識を有した人材の確保など、長期的、計画的な視点に立った運営を行う。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。